

## 地元活性化探究プロジェクト

~Explore our local community and ourselves~

青山節児中津川市長 による

# 「地域未来講演会」

が開催されました。

本校は昨年度に引き続き「地域課題探究型学習事業」の指定校になっています。その活動の一環として今年度はこれまでに学校内をメイン舞台とし様々な取り組みを行ってきました。



これまでの取り組みを紹介します。

1年次生では4月からの休校期間を活用し、コミュニケーション英語Iの授業のトピックであるピクトグラム(絵文字)を自分たちの住んでいる地域社会へのよい影響を考えて各生徒がオリジナルピクトグラムをデザインしました。(Newsletter Vol.6,7,9)また、8月には大正大学浦崎太郎教授による「ふるさと講演会~自分らしく地域に参加する~」(Newsletter Vol.16)や中津川市役所市民協働課大嶋寛人さんによる「中津川市と域学連携講和」(Newsletter Vol.17)を実施。9月には「地域×SDGs」をテーマとし、東海大学岩本泰准教授による講和や、1,2年次生全員がSDGs探究プロジェクトに取り組みました。(Newsletter Vol.18~24)



そして今回念願かない、青山中津川市長による「地域未来講演会」が実現しました!!

今回の地域未来講演会は、1,2次生を中心に約400人の生徒が拝聴。青山市長からは中津川市の現状や地域課題の説明、そして未来を背負う中津高生への熱いメッセージをいただきました。



講演会終了後に行った生徒アンケートでは、将来地元を支える人材になるために、「卒業後は一度は地元を離れるが、また中津川に戻り職に就く」や「中津川の魅力を発信し、市の発展に貢献する」などの意見や、中津川市以外に住んでいる生徒からは、「中津川には大自然や歴史的な観光名所などの強みがあるので、自分の仲間に伝えていく」などの意見もありました。

最後に・・・

現在中津川市により企業の研究施設の誘致など雇用確保の政策がすすめられています。これは若者が中津川に根付く機会が準備されつつあるということにつながります。高校生みなさんがもてる能力を十分に発揮し、地域の魅力を磨いてほしいという市長からのメッセージです。

講演終了後には、代表生徒からの質問タイムへ。(1年B組山下君 写真中央)

